

科目名	哲学・倫理学			英文表記	Philosophy・Ethics		H22年3月12日
教員名：大石敏広 青木久美							作成
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科	2年	選択	学修	2	講義と演習	半期	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 哲学・倫理学の根本問題を知り、それについて考える力を身につける。 自分の考えをまとめ、主張できる力を身につける。 問題点について議論できる力を身につける。 						
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	全プログラム	
				◎	JABEE プログラム教育目標		
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> プリントに基づいて自分の考えをまとめ、発表する。その後、発表について議論を行う。 野矢茂樹著「哲学の謎」をテキストとして使用し、あらかじめ決められたテーマで順次発表を行い、その後その発表について討論する。発表者以外も、必ずテキストに目を通し、自分の考えを整理しておく。(青木) 						
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 発表が60%、討論への参加が40%(大石) 発表(40%)およびそれに関するレポート(40%)。予習(20%)予習の有無は討論の参加度によって確認する。(青木) 						
教科書・教材	「哲学の謎」野矢茂樹著(講談社現代新書)、大石敏広『規則のパラドックス』(晃洋書房)、プリント						
参 考 図 書							

授 業 計 画

授 業 項 目	時 間	授 業 内 容
1. 授業のガイダンス	4	倫理の授業の進め方の説明
2. 倫理学のテーマ(1)についての講義	4	プラトンとアリストテレス
3. テーマ(1)についての発表	4	発表と、それについてのディスカッション
4. 倫理学のテーマ(2)についての講義	4	義務論と功利主義
5. テーマ(2)についての発表	4	発表と、それについてのディスカッション
6. 倫理学のテーマ(3)についての講義	4	なぜ道徳的であるべきか?
7. テーマ(3)についての発表	4	発表と、それについてのディスカッション
8. いかに規則に従うか?	4	ディスカッション
9. 授業のガイダンス	4	哲学の授業の進め方の説明
10. 発表およびディスカッション	4	決められたテーマで発表とディスカッションを行う。
11. 発表およびディスカッション	4	決められたテーマで発表とディスカッションを行う。
12. 発表およびディスカッション	4	決められたテーマで発表とディスカッションを行う。
13. 発表およびディスカッション	4	決められたテーマで発表とディスカッションを行う。
14. 発表およびディスカッション	4	決められたテーマで発表とディスカッションを行う。
15. 発表およびディスカッション	4	決められたテーマで発表とディスカッションを行う。
学習時間合計 60		実時間 50

学修単位における自学自習時間の保証(レポート頻度など)

授業の予習、ディスカッションの準備、およびレポートにより、学修時間を保証する。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)

通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。